

〈体育科〉 4年

現在の分析

〈運動や健康・安全への関心・意欲・態度〉

- ・体を動かすことを好み、約束やきまりを守って進んで運動する児童が多い。
- ・友だちと互いに励まし合ったり、教え合ったりしながら運動することができている児童が多い。
- ・体をよりよく発達・発育させるために、また元気に過ごすためには、食事・運動・睡眠が大切だということを知っていて、自分のできることを生活の中に活かしている児童が多い。

〈運動や健康・安全への思考・判断〉

- ・めあてをもって運動に取り組むこと、そのめあてに対して十分な振り返りができていない。
- ・自分に合った課題をもち、その解決に向けて取り組むことが十分にできていない。

〈運動の技能〉

- ・曲のリズムに合わせて、楽しんで踊ることができる。
- ・ボールを投げる・蹴る技能において個人差が大きい。

重点課題

〈運動や健康・安全への関心・意欲・態度〉

- ・協力・公正などの態度を育てること。
- ・運動をする場所の整備、用具の安全を確かめるなど、運動のきまりを守る態度の育成。
- ・学習課題の達成に向かって最後までやり遂げる態度の育成。

〈運動や健康・安全への思考・判断〉

- ・自分に合った課題をもち、動き方や運動する場、練習の仕方などを工夫すること。
- ・規則を工夫したり、ゲームの型に応じた簡単な作戦を立てたりすることができること。

〈運動の技能〉

- ・運動を楽しく行い、活発に運動を行っていく中で、体力の向上を図ること。

授業改善策

〈運動や健康・安全への関心・意欲・態度〉

- ・態度の評価の具体的な観点を児童に伝え、称賛声掛けを繰り返すことで協力・公正の態度を育てる。（用具の準備や片づけを友達と行う、きまりを守り、友達と励まし合って運動をすることなど重点に。）

〈運動や健康・安全への思考・判断〉

- ・自分に合った課題をもち、工夫することができるように、基本的な動きに十分取り組んだ上で工夫させる。
- ・チームのめあてや個人のめあてを設定し、場の工夫や学び合いを行うなどして主体的な活動をさせる。

〈運動の技能〉

- ・体づくり運動では、楽しく取り組みながら各種の運動の基礎を身に付けられるように運動内容を工夫する。
- ・ボール運動など、技能の習熟が必要なものには、準備運動を工夫して行い技能を高める。
- ・器械運動では、運動の特性に応じた技能のポイントを明確にすることで、互いに教え合える環境をつくったり、自分の能力に合っためあてをもって取り組めたりするように、活動の場を工夫する。